

早いもので木枯らしの吹く季節となりました。今年も残すところわずかとなりましたが、みなさん、風邪などひかれていませんか？

前月に引き続き、やなせたかしさんのお話です。



やなせたかしさんが作詞したアンパンマンの主題歌「アンパンマンのマーチ」が、東日本大震災のときに多くの被災した方々を勇気付けたことは有名な話です。避難場所で子ども達が少しでも日常に戻れるものをとという事で、ラジオに歌がリクエストされました。歌を聴いた子ども達は喜び、ラジオに合わせて大コーラス。その笑顔に大人も癒され歌詞に励まされ、涙をこぼして感動しました。その歌は日本中の多くの人の心に響きました。

やなせさんの追悼番組で被災地に救援に入った消防士さんが話されていましたが、あまりの被害に言葉をなくし、自分の無力さに気持ちががしぼんでいたとき、壁に貼られたアンパンマンのポスターに、どんなに勇気付けられたことかと。そのポスターには空を飛んで困っている人を助けにしようとするアンパンマンが大きく描かれていました。

1960年代に生まれたアンパンマンを、1973年に子ども向けの絵本にするとき、やなせさんが一番描きたかったことは「正義を行おうとすれば、自分も深くきずつくものだ。でも、そういう捨て身、献身の心なくして、正義は決して行えない」ということだったそうです。主題歌ほど耳にしませんが、やなせさんの生きた姿勢が伝わってくる歌をご紹介します。

【勇気の花がひらくとき】

作詞：やなせたかし/作曲：いずみたく

どこか知らない 遠いところで	風がうずまく 深い谷間で	赤く乾いた 砂漠の中で
だれかが泣いている 声がきこえる	ぼくを呼んでいる 声がきこえる	助けを呼んでいる 声がきこえる
泣かないで くじけないで	おそれるな がんばるんだ	たちあがれ 元気をだせ
ぼくがここにいるよ	夜はすぐにあける	オアシスはちかみぞ
勇気の花がひらくとき	勇気の花がひらくとき	勇気の花がひらくとき
ぼくが空をとんでいくから	ぼくが空をとんでいくから	ぼくが空をとんでいくから
きつと君を助けるから	きつと君を助けるから	きつと君を助けるから